運動、更に犬養内閣に依つて行はれ金輸出禁止、産業五ケ年至画等々には共に資本の独性的恐慌の処済を切り抜けんとする政策であつてこれ等の政策の遂行は実に労働者の犠牲にまで採り取らんとする最後的政策である。労働者は極度に賃銀を低下され、安き賃銀で長時間の労働を悪刺なる監督の下に強化される。労働の強化はただなに安き賃銀を一層の低下こす所の陰険極る手段であつて、特に吾等の如く飲食関係の労働者は長き封建的な主従的雇傭関係の下に束縛されてゐる、実に予想も出来得ない労働の強化がひしひしと加へられてゐる。我等はこの労働の強制に対して、絶対反対すると共に

最底賃銀を制定しろ、

男女性的差別を撤廃し、同一労働には同一賃銀を支払へ、

八時間労働を制定しろ、

値下、首切反対、

の要求を掲げ一切の労働者の組織的闘争と関聯の下に、この労働の強制に絶体反対すを捲き起さねばならぬ。

方法

労働が強制化されてゐる各産業別、職業別その実情を調査し、その産業、職業に適応する戦術を新任委員会が決定し、部署具体的にの労働の強化と闘ふこと

ファッショ粉砕闘争に関する件

提案 本部

説明 村上守三郎

主文

プロレタリア陣営の強化と拡大を計り害せんとする無産階級の階級的意識の昂揚を抑止し反動的ブルジョア政治政党の意図にみしつゝプロレタリア陣営の強化弘大を阻せんとするファッショ運動を撤底的に粉砕せんとするものである

理由 略

実行方法

一、大阪聯合会及同盟本部に提出する事

二、研究会、茶話会を開催して階級的批判をする事

三、一切の日常闘争と結びつけて闘争する事

一切の暴圧諸法令撤廃の件

提案 本部執行委員会

説明 西川光治

主文

吾等無産階級解放運動の発展を抑圧せる一切の暴圧諸法令に対して撤底的に闘ふ。

理由

爾来吾等無産階級運動の途上に有つて資本家地主は労農搾取を完全ならしむる為諸権力を完全に自己の統制下に動員し今又最後的危機に直面して社会進化の法則を無視せる反動的暴力政治をしなしめ資本主義の矛盾から発生をもてる労働者農民を主体勢力となす反資本主義諸勢力を抑圧するに假藉なき治安維持法、治安警察法、暴力行為取締法、盗難防止令、行政執行法、警察犯罰処令、違警罰即決令、其の他出版法、新聞紙法に至る迄資本家地主の擁護伸張を謀り吾等が生活防衛戦の一切の自由をメメするに至つては甚だしき挑戦である。

吾等は斯の如き労働者農民無産市民の生活を脅威し重圧するが如き反動的諸法令撤廃を期する為に決死的斗争を展開せなければならないの

実行方法

一、法規の反動性を全労農大衆に撤底せしめる事

二、全国労働本部が全国無産団体との強力なる結合を謀り日常闘争を通じて大衆的圧力を以て運動を捲き起す事

三、其の他具体的方針は本部執行部一任

出征兵士並戦死者家族救援の件

提案 本部

説明 日紫木末松

主文

帝国主義戦争満蒙事変及び上海事変に依る出征兵士、戦死者家族の生活扶助を国家的に最少限度の保證をなさしむる事

イ、政府は出征兵士の如く工場主に対してその期間日給全額の支給を法律の規定に於てさしむる事

ロ、退営後は従来通に復職なさしむる事亦同。

ハ、政府は出征兵士に対する現行の臨時手当・戦死手当等をその最少限度の保護としてその率を改正する事

(詳細は委員会に於て作成の事)

理由

日清日露欧洲戦争今日に於ては満洲事変及上海事変の其戦死者帝国主義戦争の犠牲となつた遺族に対しての生活の扶助は社会道徳上然るべき事である。今日政府が与へて居る出征兵士の戦時手当死者家族扶助当等もその家族の生活を維持するに充分なりとは云へぬ故に最少限度の保護を与へる可く主文の如く資本家地主の政府に要求し戦死した家族に対して後顧の憂なからしむるべく吾等は闘はねばならぬ此の意味に於て本案を掲げ大衆的規模に於ける闘争を展開せんとするものである

実行方法

イ、党出身代議士をして闘はしめること

ロ、全国労農大衆党と協力の下に大衆的闘争を展開すること

ハ、上層機関にも上提して更に大なる規模に於て斗争する事

ニ、以上の運動と共に職場に於ての要求闘争をする事(具体的方針は別に協議する)